

雇用創出 ワークライフバランス 創業支援 企業支援 企業誘致 販路
販路開拓 技能伝承 観光振興 農林水産業振興 移住・定住 情報発信
まち・ひと・しごと創生
シティセールス推進 空き家対策 結婚・出産・子育て 合計特殊出生率 資料⑤ 創業

生涯未婚率 教育力向上 まちづくり・地域間連携 公共交通整備 公共
施設再編整備 中心市街地活性化 協働のまちづくり 雇用創出 ワーク
ワークライフバランス 創業支援 企業支援 企業誘致 販路開拓 技能伝承
観光振興 農林水産業振興 移住・定住 情報発信 シティセールス推進
空き家対策 結婚・出産・子育て 合計特殊出生率 生涯未婚率 教育
教育力向上 まちづくり・地域間連携 公共交通整備 公共施設再編整備

たまの長期人口ビジョン

たまの創生

総合戦略

平成28年1月

岡山県玉野市

たまの長期人口ビジョン

「たまの長期人口ビジョン」は、本市における人口や経済の現状を踏まえ、人口の将来展望を示すもので、今後5年間の施策の方向性を示す「たまの創生総合戦略」の目標となるものです。

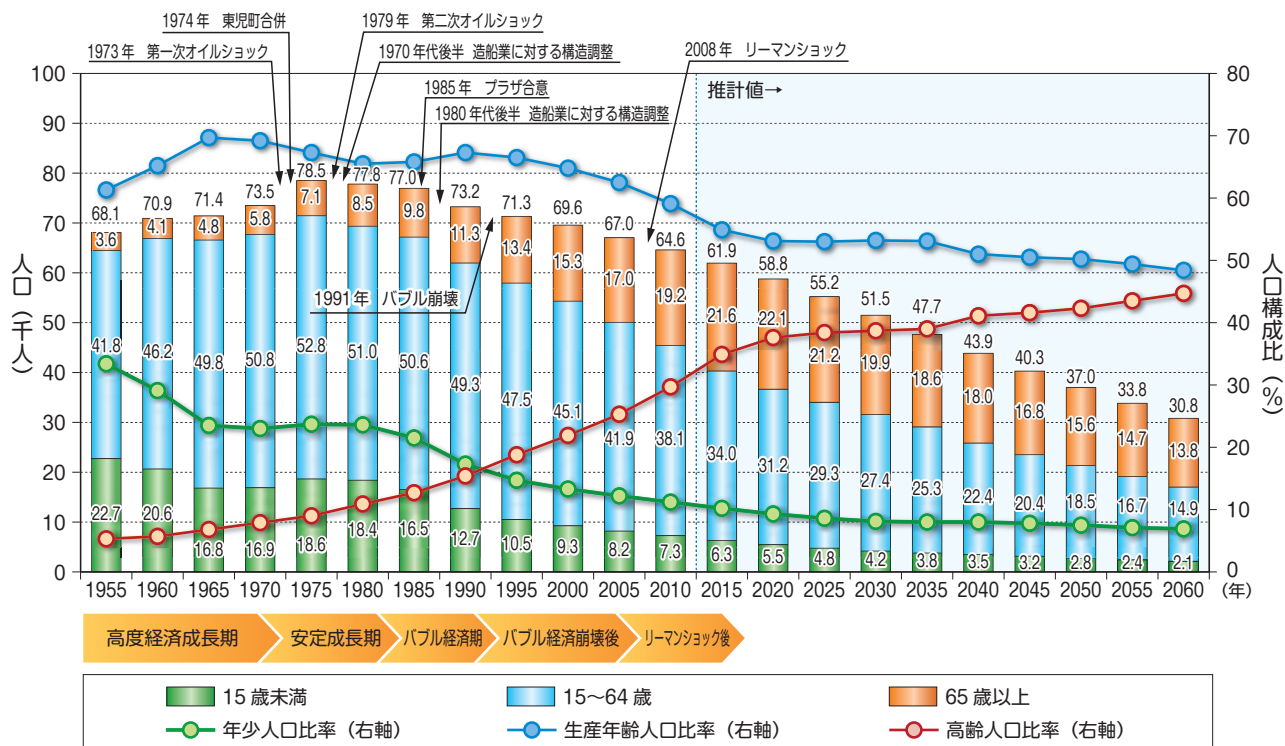
現状と課題

玉野市の人口の動きや市民のみなさんのご意見をみると、玉野市の克服すべき課題や、より積極的に取り組むべきことがみえてきました。

1 社会減に加え自然減の拡大により、人口減少が拡大

- 人口は一貫して減少傾向にあり、年間300人を超える社会減（転出超過）と出生数の減少と死亡数の増加による年間400人を超える自然減が要因となっています。
 - 社会減においては、20代から30代の転出超過が大きく、特に岡山市への転出が多いことが主因として考えられます。
 - 自然減の拡大は、高齢化の進展した現在の人口構造から、今後十数年は継続が見込まれます。
- ★ただし、市民の定住意向は比較的高く、高校生でも地元定住やUターンを希望する人は多いため、働く場所や暮らしやすい環境を整備することで、転出超過を抑制することが喫緊の課題といえます。

図表1 年齢3区分人口の推移



(注) 自然減：死亡数が生産数を上回り、人口が減少すること。

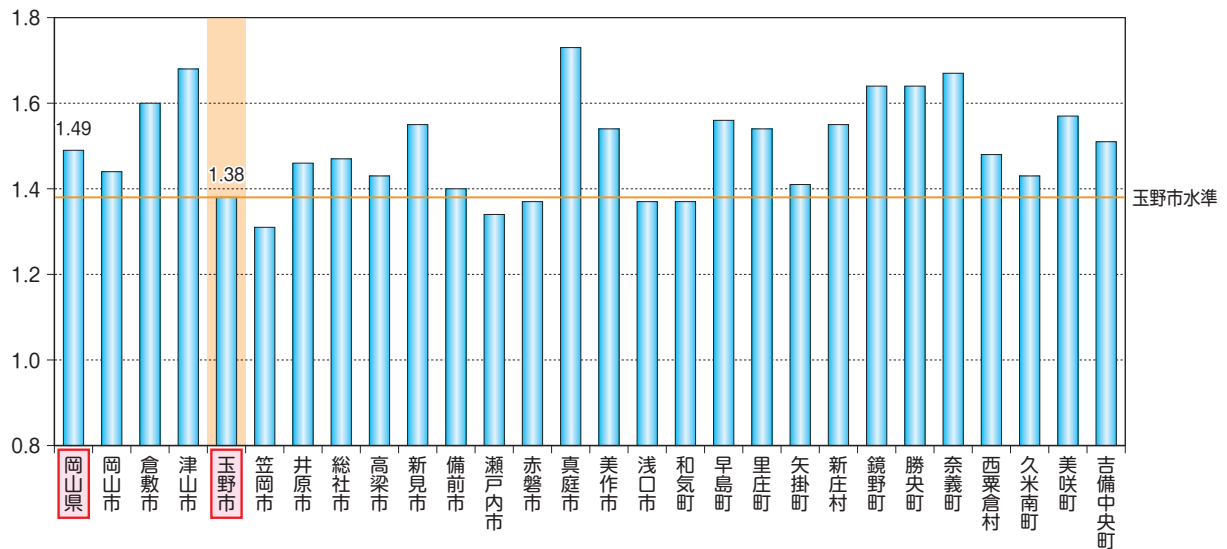
社会減：転出者数が転入者数を上回り、人口が減少すること。

資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

2 岡山県内でも低い出生率

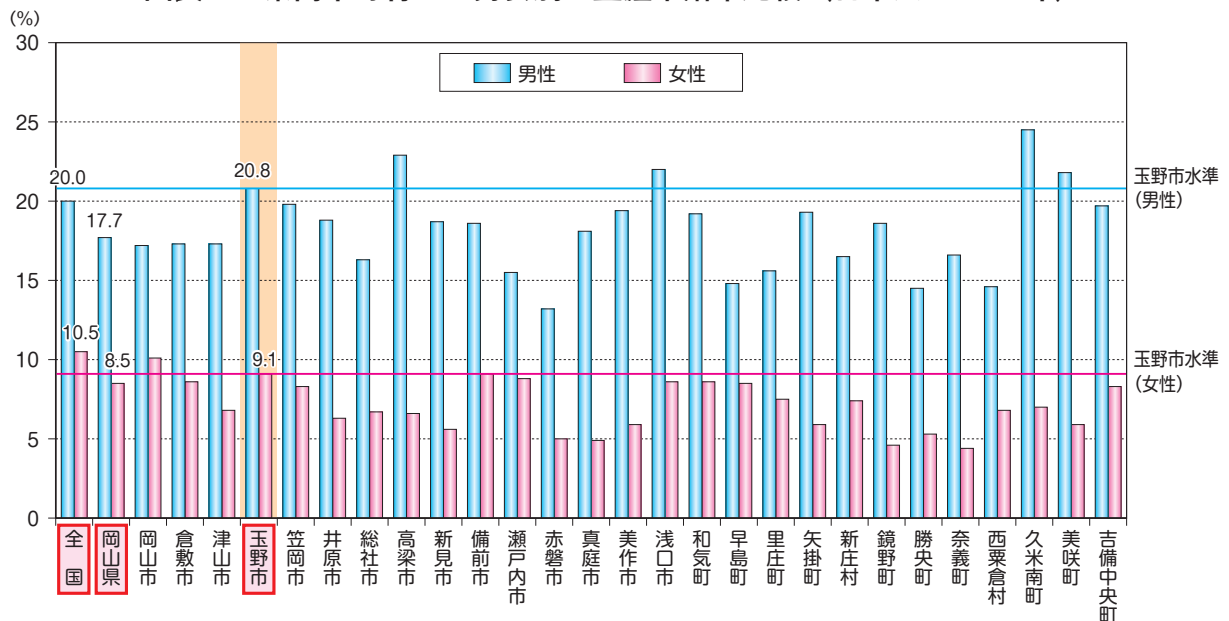
- 最近の出生率は 1.38 となっており、岡山県平均（1.49）を大きく下回り、全国と同水準の低い状況にあります。
- 出生率の低さは、男女ともに結婚していない人が多いことや若い女性の市外への転出の多さが影響しているものと考えられます。
- ★ 市民の希望する子どもの数は 1.91 人と高く、その希望を叶えられる結婚、出産、子育て環境の整備が急務といえます。

図表2 県内市町村との合計特殊出生率比較（2008年-2012年）



(注) 合計特殊出生率：1人の女性が生涯に何人の子供を産むかを表す数値。15～49歳の女性の年齢別出生率を合計したもの。
資料：厚生労働省「人口動態保健所・市町村別統計」

図表3 県内市町村との男女別・生涯未婚率比較（日本人 2010年）



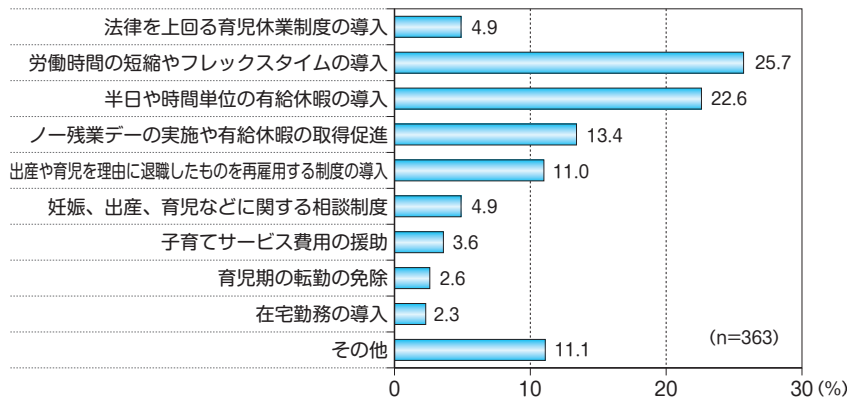
(注) 生涯未婚率：50歳時の未婚率であり、45～49歳と50～54歳の未婚率の平均値により算出される。
資料：総務省「国勢調査」

3

市内企業における子育て支援への取り組みの低迷

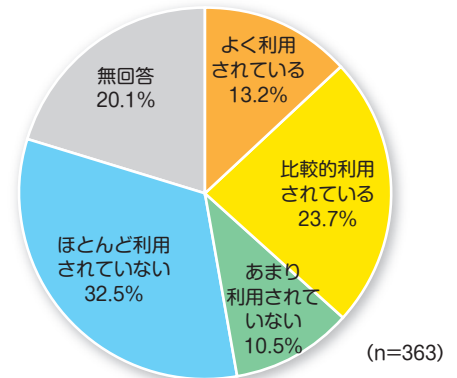
- 企業における子育て支援への取り組みは、あまり積極的でなく、利用も低迷しています。
- ★ 取り組みに対する優遇税制や子育て支援についての情報提供を希望する企業が多くなっています。

図表4 子育て支援制度の導入状況（複数回答）



資料：玉野市「『企業の雇用創出や子育て支援』に関する意識調査」

図表5 子育て支援制度の利用状況

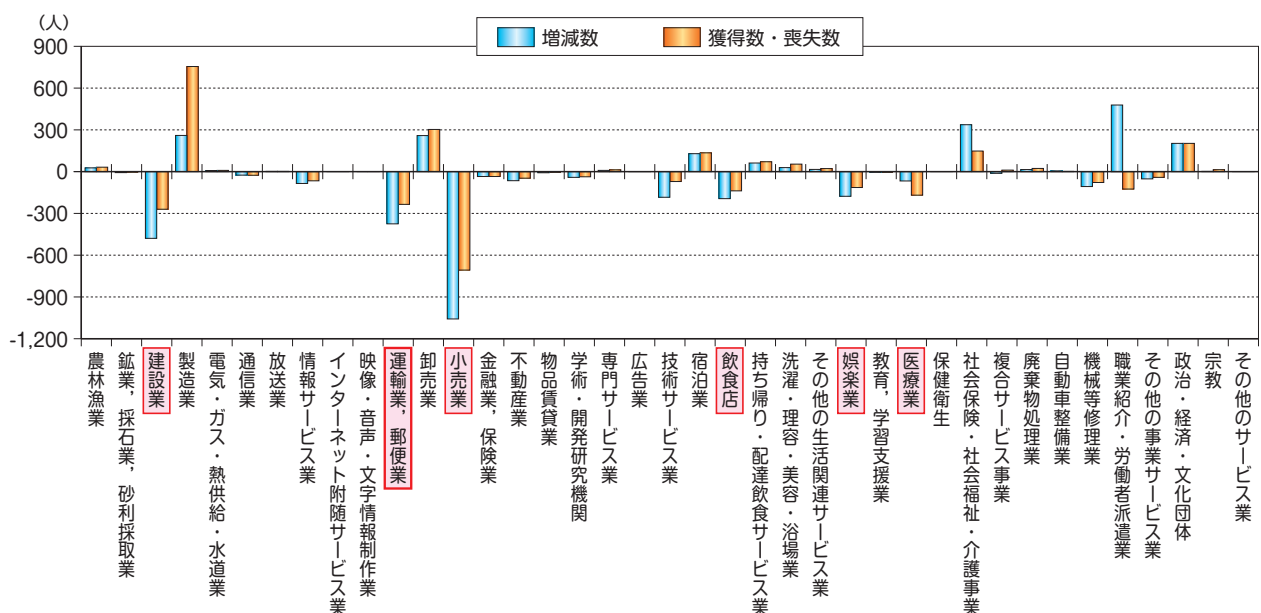


4

全国水準以上に減少する従業者数

- 市内の従業者数が全国水準以上に減少しており、特に、小売業、建設業、運輸業・郵便業、医療業、飲食店、娯楽業の落ち込みが大きくなっています。
- また、市内での非正規雇用の拡大が進んでいます。
- ★ 魅力的な職場の不足や不安定な雇用形態は、結婚や出産にも影響が大きく、早期に対策する必要があります。

図表6 業種別就業者数の増減数（2009年-2012年 民営事業所）



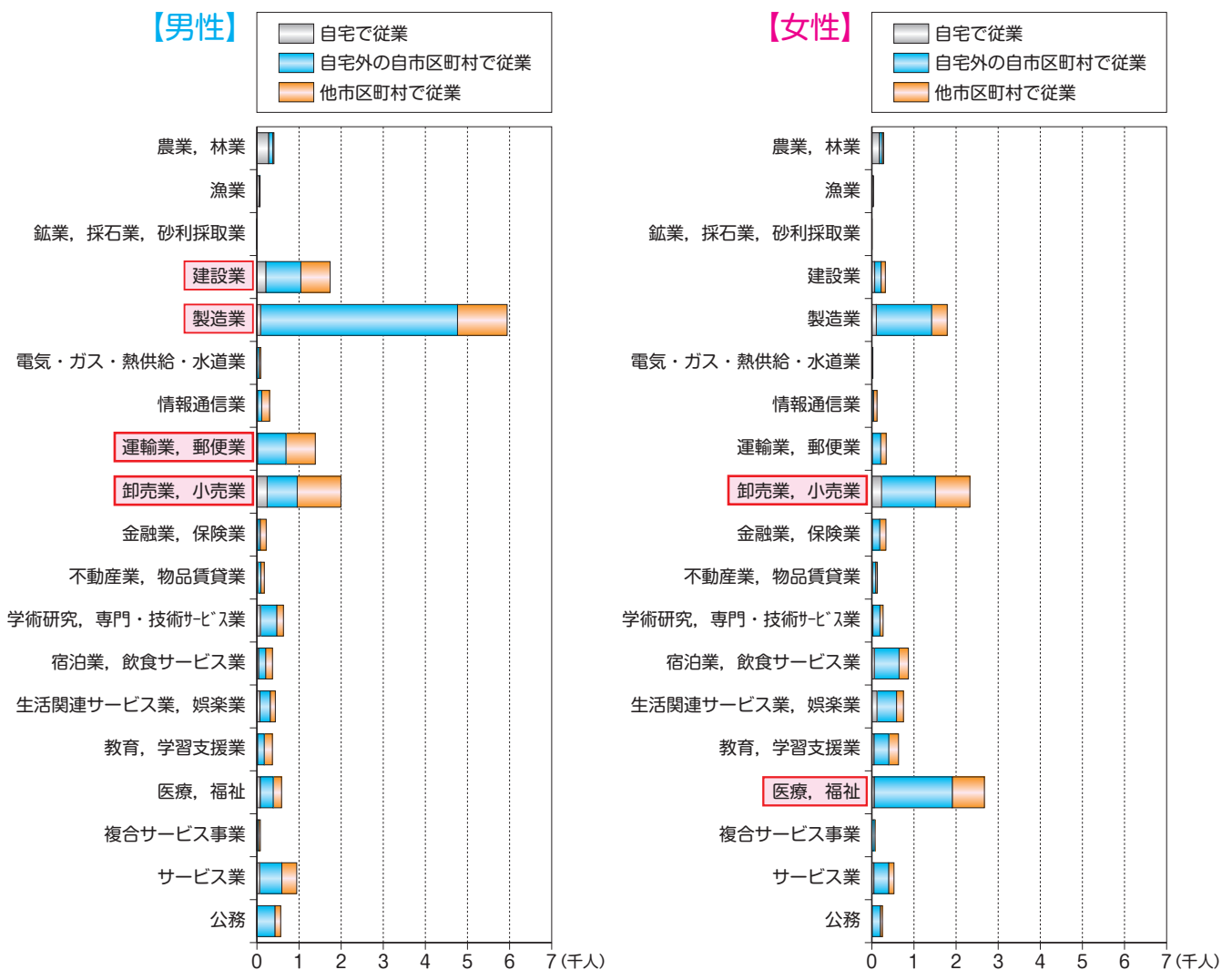
(注)「獲得数・喪失数」：2012年における「玉野市の現実の就業者数」と「2009年から当該産業の全国の変化率で推移したと仮定した玉野市の当該産業の就業者数」との差であり、プラスであれば他地域からの雇用の獲得数を示し、マイナスであれば他地域に対する雇用の喪失数を表す。

資料：総務省・経済産業省「平成21年経済センサス-基礎調査」、「平成24年経済センサス-活動調査」

5 市外に通勤する人の拡大

- 市内産業の低迷もあり、建設業、製造業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、医療・福祉などで市外通勤率が高くなっています。
- ★ 市外への通勤の拡大は、市内消費の漏出や職場結婚等を通じて、若年層、特に女性の転出に繋がる可能性もあり、市内の人口構造や産業活力の悪化を招く恐れがあります。

図表7 業種別・従業地別の従業者数（2010年）



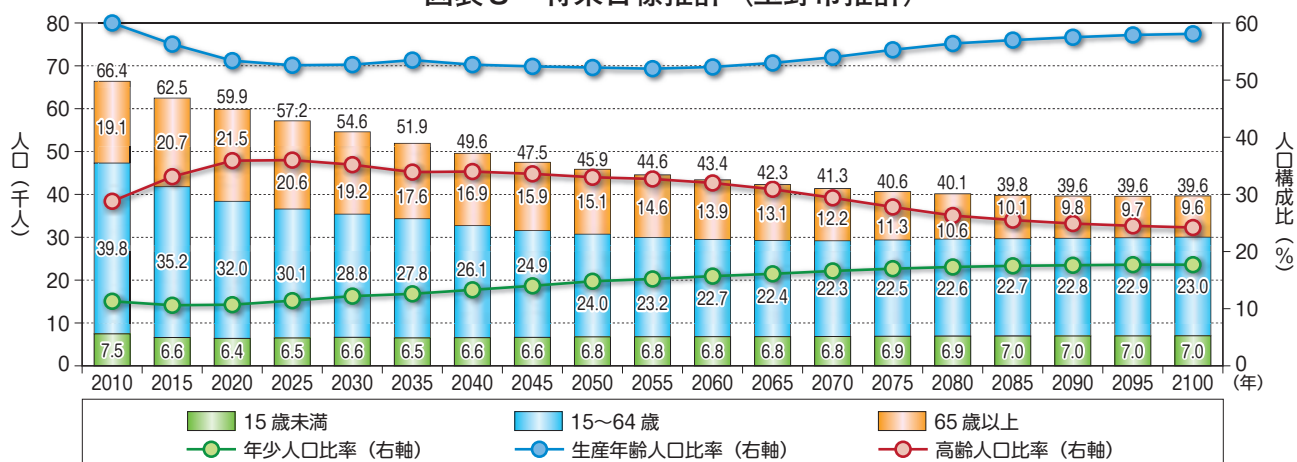
資料：総務省「国勢調査」

人口の 将来展望

長期的な市の活力維持や安定的な行政運営の観点から、人口の一定規模での安定化及び人口構造（年齢構成）の健全化を目指し、市民のみなさんの意向を反映した将来人口を以下のとおり設定します。

- 将来目標推計（玉野市推計）では、総合戦略の各種施策の実施により、市民の出生（希望出生率：1.91）や定住意向を実現することで、2040年時点で約5万人、2060年時点で約4万3千人を目指します。
- なお、超長期でみると、2080年以降、総人口は約4万人で横ばいで推移するとともに、人口構造もある程度健全化し、年少人口比率が18%弱、生産年齢人口比率が57%前後、高齢人口比率が25%前後で推移することが予想されます。

図表8 将来目標推計（玉野市推計）

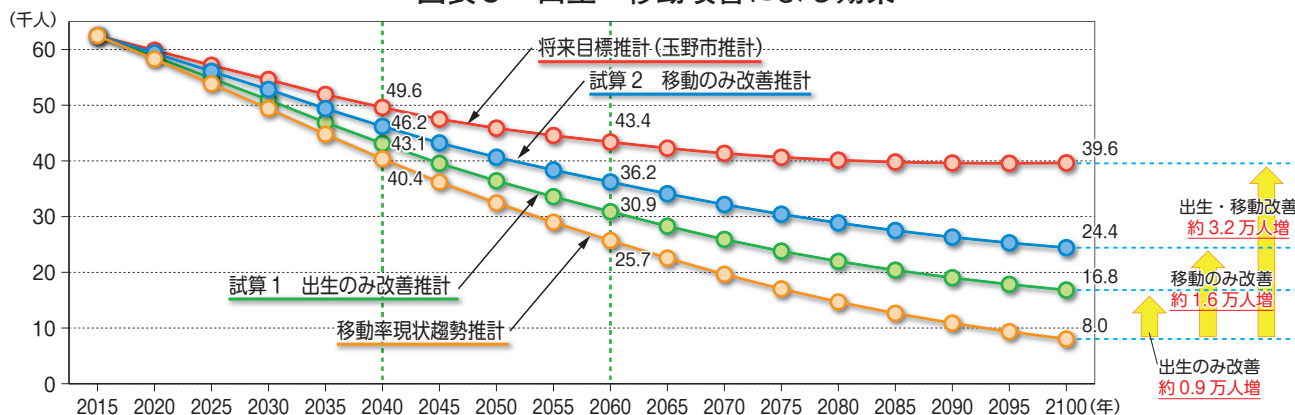


※ 推計条件：合計特殊出生率は2035年に市民希望出生率（1.91）を達成後、2040年に人口置換水準（2.07）に向上すると仮定。純移動率は移動の大きい10～20歳代の純移動率を趨勢（2010～2015年トレンド）のままとし、その他の年齢層は社人研推計と同様に移動率が半減するよう設定。また、総合戦略による施策効果として①10～20歳代の年齢層の転出抑制（5年間で400人、1年間で80人）。②子育て世代（20歳代～40歳代前半）の定住促進、1ターンによる転入の拡大。（5年間で200世帯、1世帯当たり3人（大人2人、子ども1人）を加算。

資料：玉野市「住民基本台帳」

- 玉野市推計について、合計特殊出生率の改善と移動率の改善の効果をみるため、移動率現状趨勢推計と比較してみると、2100年時点で、出生のみ改善させた場合（試算1）の効果は約0.9万人増、移動のみ改善させた場合（試算2）の効果は約1.6万人増となりました。
- そして、出生・移動の改善を見込んだ玉野市推計では、その効果は約3.2万人増となります。

図表9 出生・移動改善による効果



（注）移動率：特定の期間における移動数（転入超過数）を期間の期首の人口で割った値。
人口置換水準：人口が増加も減少もしない均衡した状態となる合計特殊出生率の水準のこと。
社人研推計：国立社会保障・人口問題研究所が推計した玉野市の将来人口。
移動率現状趨勢推計：現在（直近5年間）の人口移動の傾向がそのまま将来にわたって変化しないと仮定して行う人口推計。

たまの創生総合戦略

たまの創生総合戦略は、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、岡山県の「岡山県人口ビジョン」及び「おかやま創生総合戦略」を勘案しつつ、本市の人口ビジョンを実現するために、重点的に取り組むべき施策の方向性を示すものです。

1 基本理念

- 本市が直面している課題に対して、温暖で自然環境に恵まれ災害の少ない地域特性、力強い製造業の立地や宇野港などを拠点とした瀬戸内海の島々への玄関口としての役割など、現在の地域の魅力を活かすとともに、不足している都市機能や生活利便性を充実させることで、本市における地方創生の実現に向けて取り組んでいくものとします。

2 戦略の基本目標

- 現状と課題や人口の将来展望を踏まえ、本市が目指すべき基本理念に沿って、以下の4つの戦略の基本目標を掲げ、取り組みを進めていきます。

1 本市における安定した雇用を創出する【雇用創出】

2 本市への新しいひとの流れをつくる【移住・定住】

3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える【結婚・出産・子育て】

4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する【まちづくり・地域間連携】

3 計画期間と戦略の点検評価（PDCAサイクル）

- 本戦略の計画期間は、平成27年度から平成31年度までの5年間とします。
- 本戦略を着実に実施していくため、施策ごとに数値目標及びKPI（重要業績評価指標）を設定することで、進捗状況の把握や施策・事業の効果を検証し、必要な改訂が行えるよう、PDCAサイクルの確立を図ります。

（注）PDCAサイクル（PDCA cycle：plan-do-check-action cycle）：

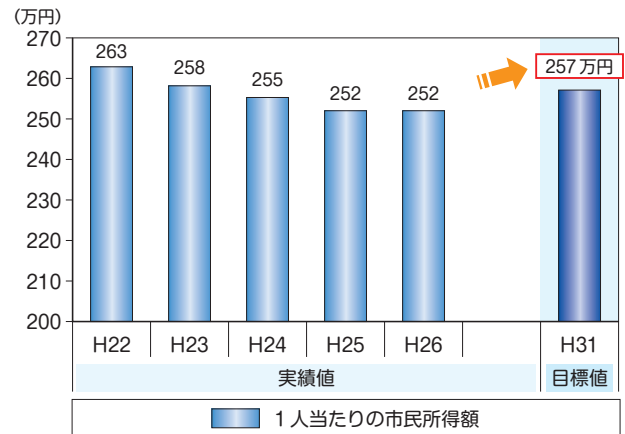
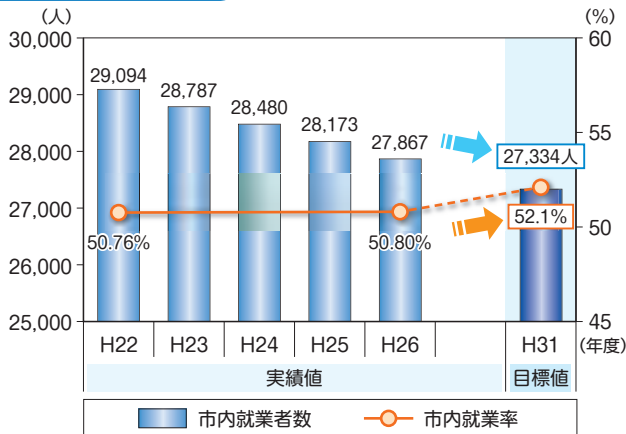
事業活動における生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進める手法の一つ。Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Action（改善）の4段階を繰り返すことにより、業務を継続的に改善する。

4つの基本目標を実現するため、下記の施策を実施し、本市の人口維持や地域活力の向上を図ります。

基本目標 ①

〔雇用創出〕 本市における安定した雇用を創出する

数値目標



施策、KPI

(1) 就業機会の拡大や雇用のミスマッチの解消により、市内就業を促進する

基本的方向	人口減少に歯止めを掛けるため、市内就業の拡大が必要なことから、企業誘致や雇用のミスマッチの解消、企業の人材確保・人材育成の支援、女性の就業促進のための就業環境の向上など多様な人材が活躍できる環境整備を進める。	
具体的事業	● 企業立地促進事業 ● 中小企業設備導入促進事業	● 若者雇用創出型創業応援事業 ● 地元就職促進事業

KPI (重要業績評価指標)	実績値	目標値
	H 26 年度	H 31 年度
雇用保険被保険者数	15,174 人	14,867 人
就職希望の市内高卒者の市内就職率	51.4%	55.8%

(2) 製造業を中心に、商業や観光など市内産業を振興する

基本的方向	市内産業の振興を図るため、本市のものづくり産業の競争力強化及び高付加価値化を支援するとともに、中心市街地の活性化などによる商業・サービス業や地域資源を活かした観光関連サービスを振興する。また、農業・水産業の6次産業化や担い手確保を推進する。		
具体的事業	● 商業振興対策事業 ● 中小企業ステップアップ支援事業 ● 中小企業保証融資関係補助事業 ● 企業立地促進事業	● 若者雇用創出型創業応援事業 ● 中小企業設備導入促進事業 ● 宇野港航路誘致推進事業	● 公共交通を軸とした瀬戸内国際芸術祭の推進及び地域活性化事業 ● 中心市街地活性化対策事業 ● 地域農業再生事業

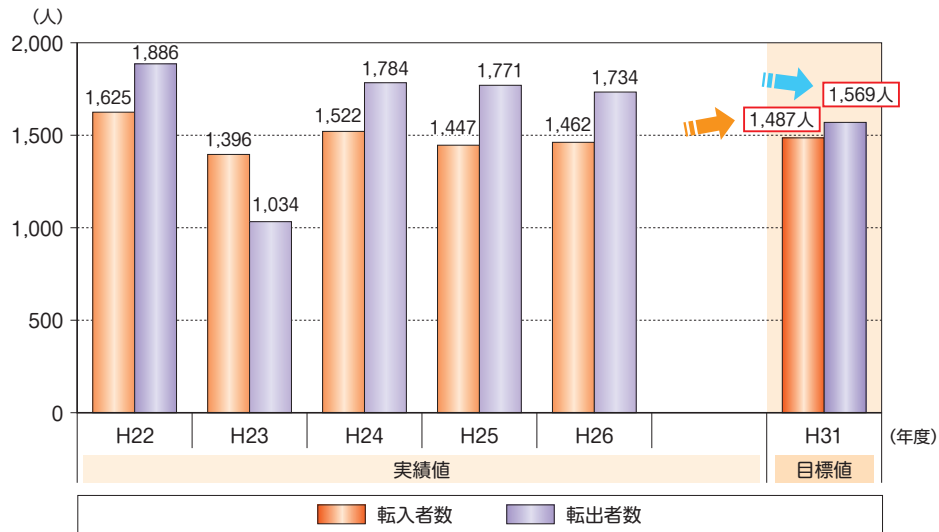
KPI (重要業績評価指標)	実績値	目標値
	H 26 年度	H 31 年度
年間商品販売額	74,777 百万円 (H24 年度)	77,211 百万円
製造品出荷額	273,523 百万円 (H25 年度)	301,255 百万円
市内開業率	2.36%	2.66%
交流人口 (観光入込客数)	1,344,000 人	1,506,000 人
1日当たりの中心市街地歩行者自転車通行量	6,006 人	6,200 人
集落営農に取り組んでいる地域、構成員数	2 地域 30 人	4 地域 70 人

(注) 市内就業者数、雇用保険被保険者：本市を含む岡山県全体での生産年齢人口の減少が見込まれるため、現状を下回るが、これまでの市内就業者数、雇用保険被保険者の減少傾向を抑制するよう目標値を設定。

基本目標 ②

〔移住・定住〕 本市への新しいひとの流れをつくる

数値目標



施策、KPI

(1) 地元への定住希望を叶えることで、定住人口を増加する

基本的方向	人口減の縮小を図るため、住環境の整備改善に取り組むとともに、子育て環境や教育環境の整備など、20～30台女性の関心の高い施策の実施により居住地としての魅力向上を図る。	
具体的事業	● IJUターン奨励事業 ● 奨学金貸付事業 ● 定住促進協力企業応援事業	

KPI (重要業績評価指標)	実績値	目標値
	H 26 年度	H 31 年度
転出超過数 (10～20代)	188人	78人

(2) 本市の魅力の発信や、移住希望者へのきめ細やかな支援により、移住(転入)人口を増加する

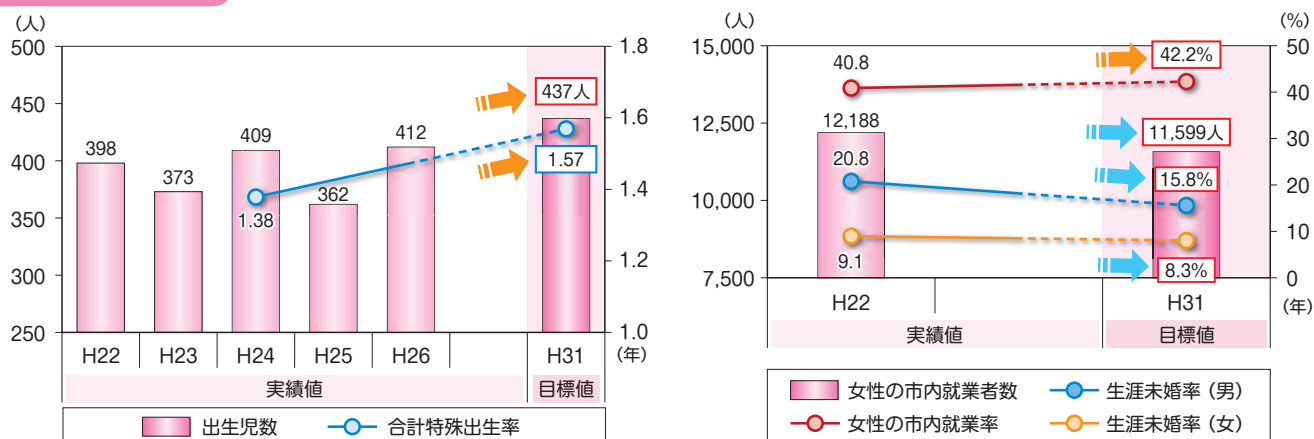
基本的方向	温暖な気候、災害の少なさや充実した子育て環境など本市の魅力に移住者層にPRするとともに、地域や民間移住支援団体と連携し、移住者の受け入れ体制、サポート体制を強化する。また、空き家物件の実態調査、発掘により移住希望者に対して紹介を行う。	
具体的事業	● 空き家対策事業 ● 移住体験ツアー ● シティセールス推進事業 ● 埋立造成地販売促進事業 ● たまの暮らしスタート支援事業 ● IJUターン奨励事業 ● 市有住宅管理事業 ● 新規就農・担い手育成事業	

KPI (重要業績評価指標)	実績値	目標値
	H 26 年度	H 31 年度
空き家の成約件数	10件	20件
空き家改修費補助件数	4件	8件
埋立造成地販売総区画数	226区画	254区画
市有住宅入居件数	15件	20件
地域の農業に関わりを持つ移住者の数	2人	5人
SNS登録件数	2,547件	3,500件
ふるさと納税寄付額	2,423,000円	20,000,000円

基本目標 ③

【結婚・出産・子育て】 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える

数値目標



施策、KPI

(1) 市民の希望を叶える環境づくりにより、出生率の向上を目指す

基本的方向	人口構造の若返り及び若年女性の人口増、出生率向上に向けた取組を進めることにより、自然減を可能な限り縮小する。		
具体的事業	- こども医療費助成事業 - 家庭教育推進事業	- 地域子ども楽級推進事業 - 学校支援地域本部事業	母子保健事業

KPI (重要業績評価指標)	実績値	目標値
	H 26 年度	H 31 年度
子育ての環境が整っていると感じている市民の割合	54.9%	65.0%

(2) 市民の結婚希望を叶えるため、出会いの機会の創出や結婚しやすい環境づくりを進める

基本的方向	地域や民間との協働により、出会いの機会の創出を図るとともに、結婚に対するサポート体制を構築する。
-------	--

(3) ワークライフバランスを向上し、仕事と出産・子育ての両立を支援する

基本的方向	中小企業における結婚、妊娠、出産に関する支援体制や柔軟な雇用形態の導入への普及啓発を図るとともに、女性の負担軽減のための延長保育や乳児保育の充実、男性の家事・育児への参加を促進する。		
具体的事業	- 子育てファミリーサポートセンター運営事業 - 放課後児童クラブ管理運営事業 - 定住促進協力企業応援事業		

KPI (重要業績評価指標)	実績値	目標値
	H 26 年度	H 31 年度
子育てファミリーサポートセンターの提供会員数	128 人	135 人
保育園の待機児童数	0 人	0 人
放課後児童クラブの待機児童数	0 人	0 人

(4) 教育の質的向上を推進する

基本的方向	就学前教育から、継続的・計画的な教育支援を行うため、中学校区一貫教育の実現に取り組むとともに、高等教育において地元貢献に資する人材を確保するなど、市内高校の魅力向上を図る。また、地域の歴史や文化に触れる機会を提供し、郷土愛の醸成を図る。		
具体的事業	35 人学級実施事業 - 中学校アフタースクール学習事業	- 小中連携英語力育成事業 - 小学校学習支援事業	

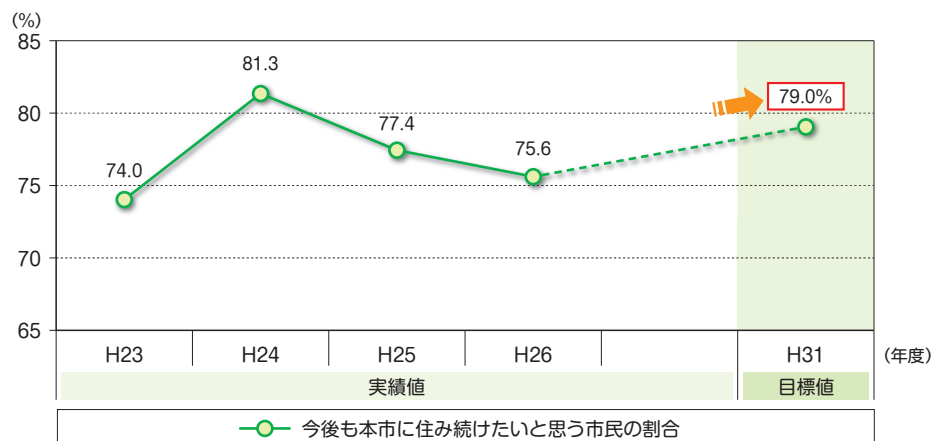
KPI (重要業績評価指標)	実績値	目標値
	H 26 年度	H 31 年度
子どもの学校(園)での教育に満足している市民の割合	51.5%	55.0%

(注) 女性の市内就業者数：本市を含む岡山県全体での生産年齢人口の減少が見込まれるため、現状を下回るが、これまでの女性の市内就業者数の減少傾向を抑制するよう目標値を設定。

基本目標 ④

〔まちづくり・地域間連携〕 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

数値目標



施策、KPI

(1) 利便性の高い地域公共交通を確保、維持する

基本的方向	生活関連施設等の各種機能の集約化を誘導するとともに、市内各地の生活利便性を確保するため、陸上交通及び海上交通を含めた利便性の高い公共交通網の確保・維持に取り組む。
具体的事業	● 公共交通運営事業

KPI (重要業績評価指標)	実績値	目標値
	H 26 年度	H 31 年度
公共交通運営事業利用者数	117,111 人	119,000 人

(2) 本市をとりまく状況に応じた公共施設の再編整備を進める

基本的方向	公共施設を適正な規模で維持するため、公共施設の再編整備を進める。
-------	----------------------------------

(3) 中心市街地の活性化を図る

基本的方向	中心市街地活性化基本計画に基づく事業等の実施により、引き続き中心市街地の活性化や交流人口増加による賑わいの創出に取り組む。
具体的事業	● 中心市街地活性化対策事業

KPI (重要業績評価指標)	実績値	目標値
	H 26 年度	H 31 年度
中心市街地に週一回以上訪れる市民の割合	49.2%	60.0%
中心市街地の居住人口	1,640 人	1,689 人

(4) 地域間連携により、市域を越えてより良い行政サービスを提供する

基本的方向	岡山市を中心とする連携中枢都市圏や倉敷市・直島町をはじめとした近隣市町との連携を推進し、広域的な連携が有効な分野・事業について、関係自治体間の相互連携を強化する。
具体的事業	● ごみ処理広域化対策事業

(5) 地域資源の有効活用を図るとともに、地域と一体となった協働のまちづくりを推進する

基本的方向	協働のまちづくりを推進し、各施策の側面的な支援を行うとともに、地域と地域の繋がりを創出し、地域資源の有効活用を図る。
具体的事業	● 地域活動支援事業 ● 協働のまちづくり推進事業

たまの創生

総合戦略



岡山県 玉野市
TAMANO CITY

製作：玉野市政策財政部総合政策課

〒706-8510 岡山県玉野市宇野 1-27-1

TEL 0863-32-5505

E-Mail seisaku@city.tamano.okayama.jp

玉野市ホームページ

<http://www.city.tamano.lg.jp/>



Find us on
Facebook

玉野市公式
フェイスブックページ



<https://www.facebook.com/tamanocity>

